

# 第8期（2023年度）事業報告

## 1. 法人運営

### 2023年度の活動

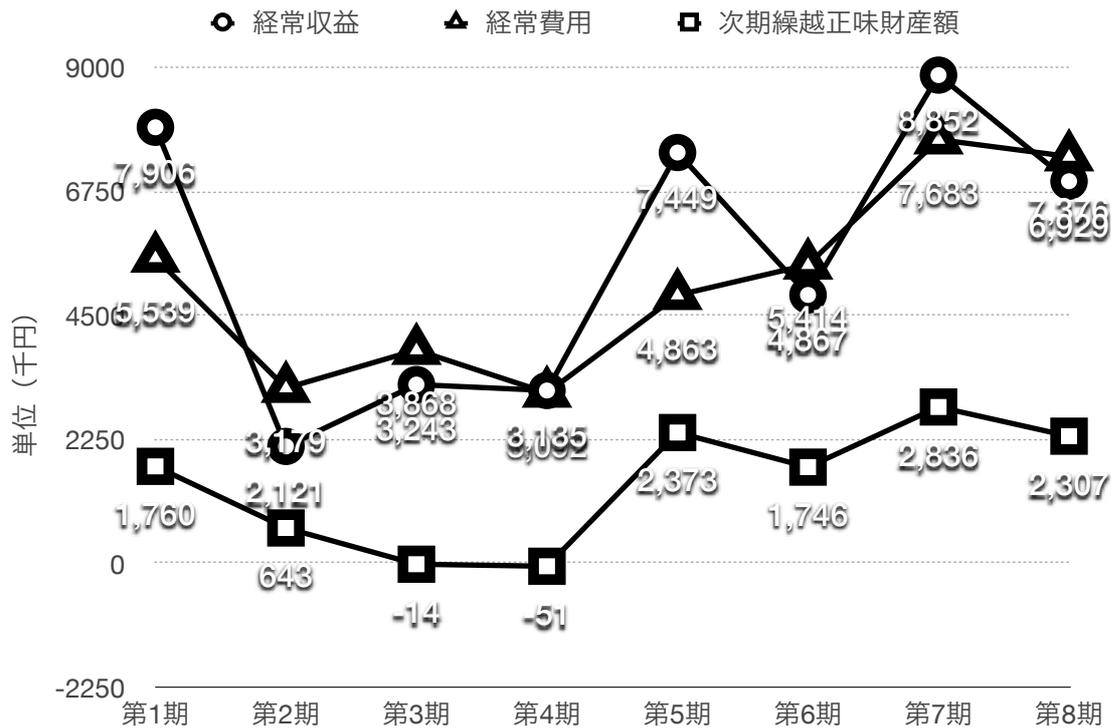
日程	活動内容
4月	宮前町の炭鉱住宅と地区浴場を記憶する調査室展（宮前町浴場、3月20日～4月7日） 滑り台補修（4月9日） 清水沢まちあるき（23日）
5月	宮前町イルミネーション撤収（4日） 電力所勤務の方の話を伺う会（12日） 宮前町お祭り（14日） 理事会（19日） 清水沢アートパワープラント（22日～10月末） 清水沢まちあるき（27日） ズリ山整備（28日）
6月	「ベクトル」トークライブ出演（1日） 社員総会（3日） 菊地史子さん滞在制作（3日～11日） 地域おこし協力隊活動報告会（10日） コミュニティゲート滞在者（19日、22日） 清水沢まちあるき（24日） 在宅福祉サービス食事会（記憶ミュージアム・25日）
7月	ズリ山草刈（2日） 夕張中学校1年生講演（4日） 北海道医療大学フィールドワーク受け入れ（8日） こども食堂（21日） 清水沢まちあるき（22日） シニアフォトキャラバン滞在（23日～8月1日） 市内新任教職員研修受け入れ（28日）
8月	博物館実習生滞在（1日～6日） 実習大学生滞在（9日～13日、14日～16日） 若菜学童国際交流活動・NHKワールド取材（10日） 清水沢まちあるき（26日） 汽車フェスタ（共催、27日） 明治学院大学ゼミ研修受け入れ（29日） 介護・福祉の現場等におけるフィールドワーク受け入れ（30日）
9月	介護・福祉の現場等におけるフィールドワーク受け入れ（4日） 夕張高校講話（6日） 立命館大学ゼミ研修受け入れ（22日、23日） 清水沢まちあるき・浴場臨時営業（23日）

日程	活動内容
10月	夕張神社百年記念大祭（1日） 夕張中1年生総合学習受け入れ（12日） 廃墟景観シンポジウム登壇（鳥取県日南町 22日） 清水沢まちあるき（28日） 清水沢学童国際交流活動（30日）
11月	夕張市民文化祭出展（記憶ミュージアム 3日～12日、1月まで延長展示） 札幌大学「夕張学」フィールドワーク受け入れ（3日） 東京大夕張会（4日） 記憶ミュージアムギャラリーミニトーク（10日・11日） すまいろんシンポジウム登壇（15日） 清水沢まちあるき（25日） 宮前町クリスマスイルミネーション設営（26日）
12月	兵庫県鉱石の道視察意見聴取（20日） イルミネーション点灯式（20日） 忘年会（20日） 清水沢まちあるき（23日）
1月	宮前町新年行事・被災地メッセージ（13日・14日） コミュニティゲート滞在者（26日） 第100回記念清水沢まちあるき（27日）
2月	桑原真理子さん・清島アパート訪問（大分県別府市 3日・4日） 清水沢まちあるき（24日） 南幌町・岩見沢市・砂川市研修（26日・27日）
3月	夕張高校地理夏思雅総合授業（19日） 清水沢まちあるき（23日） 理事会（23日）

昨年の総会にて承認をいただき、当法人は理事会設置型法人に移行しました。理事会の開催は1回のみでしたが、役員間でコミュニケーションを取る場面は多く、法人の円滑な運営に多大なる効果が生まれました。

清水沢エコミュージアム行動計画のちょうど中間地点となり、収支はおおむね計画通りに推移しました。しかしテーマとして掲げている「収益の安定化・常勤スタッフの配置」「公開開始から10年を迎えた炭鉱遺産のさらなる活用・保存への手立て」「記憶の継承」「デジタルアーカイブ」「エコミュージアム思想の定着、具現化」などの実現度はまだまだ低く、守勢一方であったと感じます。

今年度はじめに獲得できた助成金はありませんでしたが、北海道NPOファンド「こども基金」から日頃の活動を評価され20万円の寄付をいただきました。また、来年度以降3か年連続の寄付が決まったほか、後期は人件費に使える「YS市庭コミュニティ財団助成」（今年度と来年度に20万円ずつ）が決まり、年度内には間に合いませんでしたが来年度にかけてアルバイト雇用を計画しています。ほかにも会員の方や個人の方からご寄付をいただいております。みなさまに支えられていることに感謝申し上げます。



経常収益・経常費用・繰越正味財産額の推移

予算通りではありますが、今年度は527,455円の赤字収支となりました。売上が計画に届かなかったものの、アルバイト雇用やグッズ作成に見込んでいた費用を使用しなかったことなどで、皮肉にも計画どおりとなりました。大きな収入がある年以外は基本的に赤字になる財務体質は深刻な課題です。いまある地域おこし協力隊支援事業などの効率運営や、少しでもお金を生む体質に変化しなければなりません。今年度は税理士への依頼をやめ、来年度にかけて会計、申告を内製化します。また会費の徴収率が必ずしも高くないことも課題で、会務のシステム化と継続して応援していただける体制づくりも進めていきます。

3月31日現在の会員数は正会員14名 (+1)、一般会員26名 (+3,-4)、賛助会員8組 (-1)、合計48名・社・団体です。ここ数年検討している会員の方にメリットを感じていただけるサービスの充実は今年度中には実現できませんでしたが、準備中です。理事会を設置したことで役員の活動を下支えしたいと思い、役職員全員が対象となる傷害保険に加入しました。

## 各事業の報告

### (1) 炭鉱遺産の保存・活用・普及啓蒙・学術教育・調査研究に関する事業

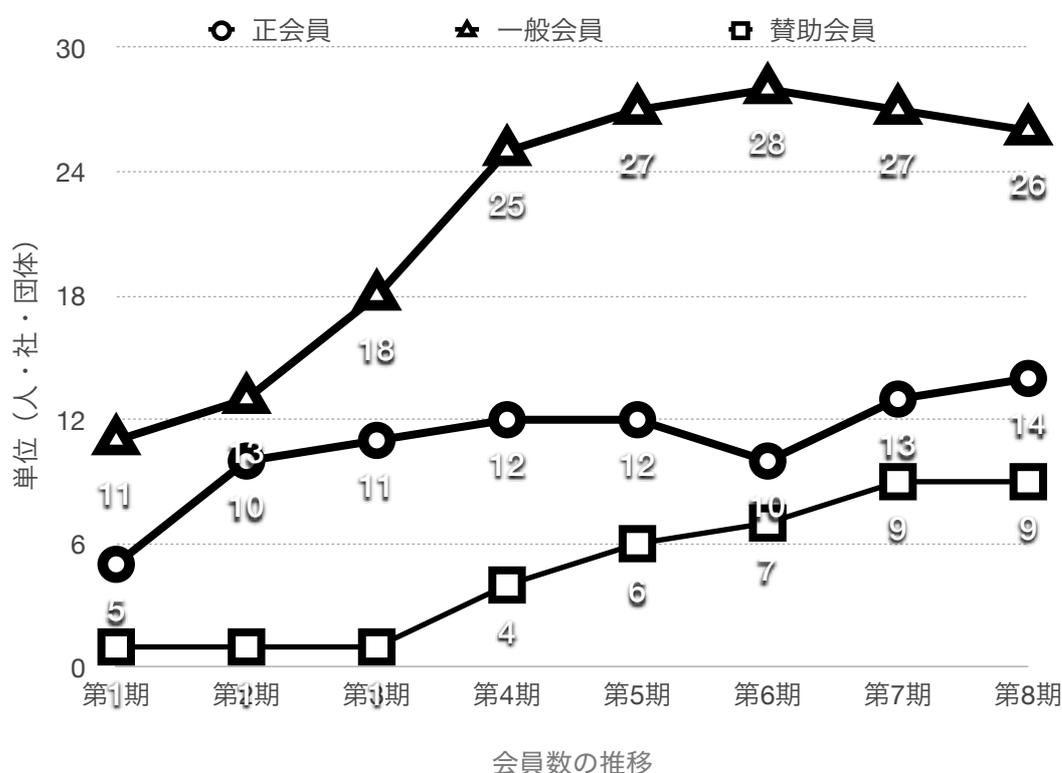
旧発電所、ズリ山、宮前浴場等炭鉱遺産関係の事業、駅展覧会、ガイド・調査研究アテンド、夕張の記憶ミュージアム 等

## 旧発電所（清水沢アートパワープラント）

清水沢アートパワープラントは、5月22日から10月31日までの日程で公開しました（菊地史子さんの滞在制作対応のため途中6月3日～12日は休止）。見学コースは53組97名、個人的な撮影コースは26組74名、団体は2組（夕張市内新任教職員研修、夕張中学校）43名、商用利用2件9名となりました。今年から2,000円に値上げしたせいも、見学コースは昨年比3分の2に減少しました。一方で個人的な撮影コースの設定日を増やしたこともあり、人数が増加しました。コロナ禍が落ち着き、久しぶりにみんなで集まって撮影するという方もいましたし、ご夫婦やご家族で撮影するという方もいました。また、見学したあとにじっくり撮影するために個人的な撮影コースを選択するという方もかなりいました。おかげで見学者数自体は15%減にとどまりました。

見学者アンケートは、これまでと方法を変え、初めて見学された方に見学後すぐにメールをお送りしました。評価そのものは悪くなかったのですが、記述回答では初めて、案内者の態度の改善に対する要望がありました。2時間がデフォルトになり、長いという声も聞かれました。

5月12日、北炭電力所勤務経験者の方6名に集まっていただき、お話を伺う機会を持ちました。座談会と言うより現存している施設の細かい部分を伺うことに終始してしまいましたが、今後も折々に話を伺いたいと思います。また12月1日にも勤務経験者の方にお話を伺ったのですが、ビデオ機材などの操作がうまくいかず、記録としては不十分なものになってしまいました。今後確実な記録のために、機材やその手順を標準化していく必要を感じました。



冬季間、JERA川崎発電所（ガス）および北電砂川発電所（石炭）を見学し、発電の知識をアップデートしてきました。その成果を今後の案内に活かしたいと思います。

## ズリ山

---

5月21日（日）今年の整備作業を予定していましたが、雨のため28日（日）に延期し、清水沢プロジェクトのメンバーや夕張市役所職員など有志10名で作業を行いました。昨年大規模に階段の取り替えたので、今年は椅子の補修、防腐剤塗布、草刈り、看板の補修などを実施しました。その後7月2日（日）にさつき町内会4名と草刈りを行いました。今年度も北海道地域活動振興協会のボランティア活動支援事業助成金30,000円をいただき、整備活動費に充てさせていただきました。

## 宮前町浴場

---

市営宮前町浴場で企画調査展示「宮前町の炭鉱住宅と地区浴場を記憶する調査室」を年度またぎとなる3月21日～4月7日に開催しました。報告冊子の作成を検討しましたが、展示物だけでは内容が薄いこともあり実施しませんでした。

また9月23日（土・祝）に臨時営業を行いました。大学生のフィールドワーク対応の一環で、学生の入浴後に一般開放を行いました。今回も50名程度の入浴があり、臨時営業としては一定の成果を得ました。

本展以降、浴場の見学希望者には入浴の有無を問わず、入浴券を購入していただいています。浴場従業員の方に対応していただくこともあり、わずかながらでも増収につなげる取り組みです。

## JR新夕張駅展覧会

---

今年度の展示替えは行いませんでしたが、6月に着任した小仲新駅長のご配慮で、写真とキャプションをラミネートしていただきました。2月下旬には、新夕張駅開業当時の写真を数点追加しました。

## みんなで作る夕張の記憶ミュージアム

---

毎月広報ゆうばりに掲載している記憶ミュージアムの写真が7月号で丸5周年となり、8月号で過去に掲載した写真60枚を一挙に掲載していただきました。また11月に開催された市民文化祭では、「みんなで作る夕張の記憶ミュージアム・ギャラリー」として、これらの写真を展示しました。その後市教委の希望もあり、1月中旬まで継続展示となりました。11月10日・11日には計3回、30分程度のミニトークを実施し、計20名ほどの参加者がありました。

6月には、宮前集会所で開催された「在宅福祉サービス食事会」で、記憶ミュージアム所蔵写真をスクリーンに映し出して参加者のみなさんに見ていただきました。また7月には夕張南高同窓会に写真提供を依頼され、世代に合わせた写真を提供しました。

コミュニティゲート1号室を接客対応・ミーティングルーム・資料の保管・閲覧場所として整備し、リアルな記憶ミュージアムとする計画を進めていますが、年度内に具現化することができませんでした。

## (2) 地域資源の価値発見、活用による交流人口の増大に関する事業

---

アーティスト等のサポート、アバディーンとの交流、夕張Likers!、清水沢まちあるき 等

これまで活動していたアーティストたちが久しぶりに帰ってきた一方で、札幌国際芸術祭の開催年度にも関わらず、夕張に関心を持つアーティストの訪問がほとんどない一年でした。

清水沢まちあるきが1月で100回を迎えました。第100回は31名が参加、清水沢生活館まで移動し、北海道大学大学院の鈴木里奈さんの講演などにより、これまで8年9か月のまちあるきの歩みを多角的に振り返りました。

夕張市の関わり人口創出事業である「夕張Likers!」は、名刺の作成業務を無償で行っている状態がいまだ続いています。しかし、地域振興課との話し合いには進展がみられるようになり、実施体制、Likers事業のPRや名刺のデザイン変更に向けて動きつつあります。

今年度は大学生の卒業論文調査の問い合わせが1件もありませんでした。今後も機会があれば、地域に学ぶ学生に関わり続けたいと思います。

### アバディーン//夕張プログラム

---

大きな動きはありませんでしたが、メイボン尚子さんはエコミュージアムのシンポジウムで発表したり、レズリーさんは3名での共著論文を専門誌に投稿するなど、長いつながりを確実に繋いでいってくれています。

## (3) 炭鉱遺産・地域資源の価値増大に資する施設等の運営事業

---

清水沢コミュニティゲートの運営

夕張市と締結した「清水沢エコミュージアムプロジェクトに係る連携協定」の8年度目となり、今年も「旧宮コ23棟」施設の無償貸与を受け、「清水沢コミュニティゲート」として、運営を行いました。

今年の利用は8組（合計約32日間）あり、収益の面でも昨年を上回りました。会員の山口さんの紹介で夕張で実習を行う大学生が夏の間滞在し、盆踊りの手伝いや参加をしてくれました。菊池史子さん、シニアフォトキャラバンの滞在で、いつものコミュニティゲートらしい活動もありましたが、アーティスト・イン・レジデンスとしての広報は今年もできませんでした。

いまだ開館日を定めて来客対応することは難しく、不定期開館の状況が続いています。今年実施したこども食堂や大学生の視察対応なども広々とした清栄生活館を使うことが多く、コミュニティゲートの位置づけがぐっと低下してしまいました。

水道光熱費については、電気・水道・ガスそれぞれ国や市の激変緩和措置や軽減措置があり、いずれも低水準で済みました。かなりの節電を意識する必要があります。これらの施策の終了後は大幅に支出が増加することを意識して節約に取り組みます。

コミュニティゲート利用実績（滞在利用・オフィス利用・子ども食堂）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数 (件)	0	0	10	9	12	0	0	0	0	1	0	0	32
収入 (円)	0	0	11,550	29,700	25,800	0	0	0	0	3,850	0	0	70,900
2022年件 数(件)	0	0	0	1	14	2	0	6	0	0	3	0	26
2022年収 入(円)	0	0	0	30,000	8,000	6,600	0	6,000	0	0	1,500	0	52,100
(参考) 2019年件 数(件)	1	2	2	4	3	2	3	1	2	2	2	2	26
(参考) 2019年収 入(円)	0	9,900	9,900	89,820	9,900	9,900	16,550	11,550	13,500	5,000	85,250	1,100	262,370

※2019年は日数ではなく件数として計算。

水道光熱費比較表

2023年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	2,787	2,524	2,671	2,770	5,100	4,556	3,667	3,144	3,201	7,172	5,673	5,510	48,775
水道	384	384	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	102,368
灯油・ガ ス	5,028	4,912	4,796	4,908	4,906	726	6,838	4,912	8,612	4,796	4,912	37,389	92,735
2022年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	5,751	4,689	4,634	6,650	8,358	6,971	8,822	6,957	8,483	14,847	8,186	5,332	89,680
水道	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	10,160	384	384	102,368
灯油・ガ ス	4,796	4,796	4,796	4,796	4,796	4,914	5,372	4,912	4,796	4,912	63,245	6,812	118,943
参考 2019年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	11,460	7,112	7,004	7,692	8,528	7,463	6,843	6,465	7,219	5,559	6,567	7,477	89,389
水道	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	10,160	10,160	120,080
浄化槽	2,800	2,800	2,800	2,800	0	0	0	0	0	0	0	0	11,200
灯油・ガ ス	5,264	30,657	4,802	5,554	5,173	6,094	6,187	5,262	5,653	5,939	22,960	5,481	109,026

(4) まちづくり活動を統括する清水沢エコミュージアム全般に関する事業

エコミュージアム等まちづくり活動全般、広報 等

旧清水沢駅の解体や夕鉄バスの市街路線廃止により、10月にパンフレットの改訂版を制作しました。

エコミュージアムの「石炭の道」の整備は、実施できませんでした。

コミュニティゲートのPRも兼ねた「エコミュージアムデー」イベントについては実施できませんでしたが、1月のまちあるき100回の際、清水沢エコミュージアムについて簡単に説明を行いました。PRは1号室の整備と常時開館体制と同時に進めていく必要があります。

## **(5) 地域活動の活性化支援事業**

---

町内会、他の団体、施設の活性化 等

7月21日、夏思雅が実行委員長となり、こども食堂を清栄生活館で復活実施しました。別組織の夕張子ども食堂実行委員会の主催とし、法人からはこども基金寄附を財源とした10万円を夏思雅の研修費として支出しました。高校生も含めて調理や遊びのスタッフが大勢参加してくれたこともあり、小中高あわせて50名以上の子どもと15名を超えるスタッフ、大人の参加で無事に終了することができました。

共催で加わっている三菱大夕張鉄道保存会の汽車フェスタは、8月27日、28日に実施しました。

清栄生活館の運営については、グループホームまどかさんが定期利用してくださったり、清水沢プロジェクト関係の視察の件数が多かったこともあり、昨年度に比べて大幅に利用が増えました。引き続き宮前町・清栄町に拠点を置く団体として、コミュニティゲートでは手狭なイベントを中心に、生活館や宮前集会所を使用していきたいと思います。

## **(6) 地域情報の受発信、物販、喫茶・飲食に関する事業**

---

物販、ホームページ、制作物等

缶バッジ制作を行う予定でしたが、実現していません。書籍などは時々オンラインショップで売れるものの、新たなグッズなどの制作を全く行わなかったこともあり、売上がふるいませんでした。

## **7) 次世代に地域の誇りを継承する事業**

---

子ども・子育て支援部門地域おこし協力隊支援事業、こども食堂、ハルニレプロジェクト・森の輪 等

### **夕張市地域おこし協力隊（子ども・子育て支援部門）支援業務**

---

今年度も継続して地域おこし協力隊（子ども・子育て支援部門）支援業務を受託しました。6月10日は、夏思雅が旗振り役となり、地域おこし協力隊4名の報告会を開催しました。夕張市の協力隊

が市民に対して全員で報告する機会は初めてで、普段接することが少ない市民と出会ったり、市民にとっても協力隊員の人となりを知る機会となり、実りある機会となりました。

定期的にホームページで発信している活動報告が目にとまり、NHK WORLDの取材を受けることになりました。日本で働く外国人をテーマとした番組で、若菜学童クラブで実施した夏休みの国際交流活動の様子を中心に、夏思雅が所属する柔道少年団の活動の様子などが9月に放送されました。

また週1回出勤するりすたでは、定例の「ゆうばりっ子ひろば」の装飾のほか、今年度市が実施している小学生の立ち寄り事業の手伝いにも取り組んでいます。「にじいろサークル」や乳幼児健診の手伝い、保育園やこども園の訪問などを通じて、多くの子どもたちと直接接しています。これらの様子はSNS「ゆうばりっこページ」で情報発信を行っています。

昨年同様、高校から地理総合授業の講師の依頼があり、四川省の気候が食に影響していることを座学で学び、調理実習を行うという授業を3月19日に実施しました。保育に関心のある生徒のボランティア受け入れや探求学習の手伝いなども実施しました。

## ハルニレプロジェクト・Yubari WOOD START プロジェクト・森の輪（わっこ）

2022年にこども園に寄贈したすべり台は、4月に櫻井亮さんに修理していただきましたが、やはり冬季の床暖房が原因で再び亀裂が入り、現在使用停止中です。ハルニレプロジェクトで伐採した樹木のうち、エゾヤマザクラを使用した「森の輪」の乳幼児健診時の配布は4年目の今年も実施しました。

## (8) 地域資源を活用したまちづくりに関するコンサルティング・シンクタンク事業

浴場事務サポート、研究サポート、講演、コンサルティング 等

市営3浴場の会計事務サポートを継続して実施しています。貴重な固定収入であり、各浴場に定期的に伺って実情に触れる機会にもなっています。

人流も本格的に回復し、大学生の研修の受け入れも数件ありました。また夕張市内でも中高での講演、総合学習受け入れがありました。また、鳥取県若松鉾山で開催された「廃墟景観シンポジウム」、東京で開催された「すまいろんシンポジウム」で登壇したほか、佐藤個人としては北海道科学大学メディアデザイン学科での非常勤講師、北海道「北の住まいるタウン」検討協議会委員の委嘱を受けて活動しました。

# 第8期（2023年度）決算

## 貸借対照表

2024年3月31日現在

一般社団法人清水沢プロジェクト(事業全体)

単位:円

資産の部		負債の部	
科 目	金額	科 目	金額
流動資産		流動負債	
現金預金	2,118,037	未払金	233,878
売掛金	32,500	未払費用	3,160
役員貸付金	130,233	未払法人税等	80,000
未収入金	397	預り金	49,082
流動資産合計	2,281,167		
固定資産		流動負債合計	366,120
有形固定資産		負債合計	366,120
工具器具備品	392,598		
固定資産合計	392,598	正味財産の部	
		科 目	金額
		一般正味財産	
		前期正味財産	2,835,100
		当期正味財産増減額	△ 527,455
		正味財産合計	2,307,645
資産合計	2,673,765	負債及び正味財産合計	2,673,765



正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

一般社団法人清水沢プロジェクト  
(単位：円)

科目	収益事業	非営利事業	合計
経常増減の部			
経常収益			
正会員受取会費	0	130,672	130,672
一般会員受取会費	0	60,707	60,707
賛助会員受取会費	0	70,336	70,336
受取寄附金	0	284,193	284,193
受取助成金	0	230,000	230,000
売上高	6,153,527	0	6,153,527
受取利息収入	18	2	20
	6,153,545	775,910	6,929,455
経常費用			
仕入高	8,087		8,087
研修費	3,605	83,244	86,849
役員報酬	1,011,463	127,537	1,139,000
給料手当	3,399,600	0	3,399,600
雑給	7,000	0	7,000
法定福利費	655,673	25,021	680,694
福利厚生費	27,637	2,782	30,419
外注費	9,222	1,163	10,385
荷造運賃	2,775	0	2,775
広告宣伝費	25,939	4,351	30,290
交際費	34,246	2,861	37,107
会議費	98,754	25,450	124,204
旅費交通費	93,042	7,084	100,126
通信費	145,076	27,494	172,570
消耗品費	205,111	57,125	262,236
水道光熱費	227,970	15,908	243,878
新聞図書費	43,247	5,453	48,700
諸会費	24,620	33,545	58,165
支払手数料	155,844	12,232	168,076
車両費	276,202	35,827	312,029
リース料	6,110	770	6,880
保険料	60,457	9,373	69,830
租税公課	64,162	7,838	72,000
支払報酬料	181,477	22,883	204,360
燃料費	3,109	392	3,501
減価償却費	87,159	10,990	98,149
雑費			0
経常費用計	6,857,588	519,322	7,376,910
法人税、住民税及び事業税	0	80,000	80,000
当期正味財産増減額	△ 704,043	176,588	△ 527,455
前期繰越正味財産額	167,270	2,667,830	2,835,100
次期繰越正味財産額	△ 536,773	2,844,418	2,307,645

科目	決算額		内訳								備考	
			1炭鉱遺産の保存・活用・普及啓蒙・学術教育・調査研究に関する事業	2地域資源の価値発見、活用による交流人口の増大に関する事業	3炭鉱遺産・地域資源の価値増大に資する施設等の運営事業	4まちづくり活動を統括する清水沢エコミュージアム全般に関する事業	5地域活動の活性化支援事業	6地域情報の受発信、物販、喫茶・飲食に関する事業	7次世代に地域の誇りを継承する事業	8地域資源を活用したまちづくりに関するコンサルティング・シンクタンク事業		9前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
<b>経常増減の部</b>												
<b>経常収益</b>												
正会員受取会費	130,672										130,672	13名/14名
一般会員受取会費	60,707										60,707	20名/26名
賛助会員受取会費	70,336										70,336	7名/9名
受取寄附金	284,193			33,593							250,600	こども基金、まちあるき
受取助成金	230,000		30,000								200,000	ボランティア活動支援事業助成金、YS市庭助成
売上高	6,153,527		556,450	65,550	70,900			129,502	4,797,525	533,600		
雑収入	0											
受取利息収入	20										20	
<b>経常収益計</b>	6,929,455	6,929,455	586,450	99,143	70,900	0	0	129,502	4,797,525	533,600	712,335	
<b>経常費用</b>												
仕入高	8,087		7,607						480			
研修費	86,849					500	83,964		1,385		1,000	
役員報酬	1,139,000										1,139,000	
給料手当	3,399,600								3,399,600			
雑給	7,000		7,000									アートパワープラント
法定福利費	680,694								457,236		223,458	
福利厚生費	30,419			430							29,989	健診代
外注費	10,385		10,385									サーバー管理代
荷造運賃	2,775							2,775				
広告宣伝費	30,290				25,917	1,080					3,293	パンフ等
交際費	37,107		5,876			10,000				5,676	15,555	香典、甲花、寄進金等
会議費	124,204		47,220	14,299	7,852	4,300		1,750	11,184		37,599	会場費、打ち合わせ飲食費等
旅費交通費	100,126			37,700					14,230	22,634	25,562	
	172,570		520	1,590	97,098				45,617	1,110	26,635	地域おこし協力隊業務用携帯電話通信料、電話代等
通信費	262,236		59,606	2,630	97,704			1,312	27,779		73,205	
消耗品費	243,878				243,878							
新聞図書費	48,700										48,700	
	58,165			10,000			6,000		30,440		11,725	三菱大夕張鉄道保存会、日本エコミュージアム研究会、町内会、ユウパニコザクラの会、森の輪、東京大夕張会
諸会費	168,076		15,625					550	10,560	2,640	138,701	各種サービス(北洋銀行、Adobe、経理、Zoom等)含む
支払手数料	312,029		1,000								311,029	ガソリン代、車検費用の一部
車両費	6,880		5,880	1,000							68,080	アクションカム
リース料	69,830		1,750								70,000	変更登記
保険料	72,000								2,000		198,792	税理士決算料等
租税公課	204,360			5,568								
支払報酬料	3,501				3,501							
燃料費	98,149				98,149							除雪機
減価償却費	0											
雑費	0											
<b>経常費用計</b>	7,376,910	7,376,910	162,469	72,787	548,612	26,417	105,344	5,117	3,990,597	43,244	0	2,422,323
法人税、住民税及び等	80,000											
<b>当期正味財産増減額</b>	△ 527,455											
<b>前期繰越正味財産額</b>	2,835,100											
<b>次期繰越正味財産額</b>	2,307,645											

(単位 円)